

# 桜花

おうか

弘前市立第二中学校 学校だより  
平成14年度 第11号  
平成14年5月31日(金)  
弘前市平岡町72 32-3642、4607

文部科学省指定



## 生徒指導総合連携推進事業 スタート!



交通安全キャンペーン



スリーオンスリー表彰式



総合津軽から“茶道”講座



親子のつどい・清掃活動

29日付け東奥日報・31日付け陸奥新報各紙面で記事となって紹介されましたが、二中学区が文部科学省から平成14年度・15年度「生徒指導総合連携推進事業」の指定を受けました。難しいタイトルですが、地域をあげて子どもを育てようと活動してきた“二中学区青少年健全育成協議会”をベースに、学校週5日制を念頭に、さらに地域の伝統や文化を学校活動に生かす活動など、問題行動へ対処する生徒指導ではなく、活動をとおして子どもが自己実現できる積極的な生徒指導を行おうとするものです。

### 学区諸団体が連携して

そのために二中学区のいろいろな団体（各小中学校、PTA、地区社会福祉協議会、民生委員協議会、防犯協会、体育協会、青少年育成委員、交通安全部ほか）が連携して地域全体での活動の体制をつくることとなります。

### 6月1日に推進委員会開催

6月1日(土)午後1時から、市民会館会議室を会場に、関係団体、教育委員会や警察署など指導機関の代表の方々にお集まりいただき、『第二中学校生徒指導総合連携推進委員会』を組織し、本格スタートすることになりました。

### さまざまな活動を通して子どもとのコミュニケーションを

「善行活動」「非行防止」「交通安全」「余暇活動」「事例研修」「郷土ふれあい活動」などの諸活動を行いますが、4月からすでに“交通事故防止キャンペーン”や3学年の総合津軽の授業で地域の方々を講師に“郷土ふれあい活動”を展開してきました。さまざまな活動を通して子どもたちが地域の大人とふれあうことで、将来的に地域の中で生きる、夢を持った大人として育ててほしいと願っています。

# 生徒指導総合連携推進事業

地域の子どもは、地域の大人のみんなで育てよう…

学校では

小・中学校、家庭、地域連携のもと  
安全でたのしく学べる学校を創ろう

新教育目標 高い理想を持ち いきいきと協力し 人の役にたつ

**I**  
「津軽・いのち」を  
テーマに  
地域の豊かな心に  
自ら学ぶ  
総合的な学習の時間

**II**  
一人ひとりに応じ  
きめ細かく  
基礎・基本を徹底する  
教科指導の展開

**III**  
個性や能力を生かし  
体験活動を通した  
積極的な生徒指導  
の実践

二中では、今回の文部科学省指定の  
「生徒指導総合連携推進事業」を本年度からの新教育課程実施に伴う**特色ある学校づくりの柱**に据え、**地域の方々と共に手を携えて教育活動を展開して**いきます。

今までもたくさんの方々(地域の方々)に学校においていただき、また、生徒を受け入れていただき、様々な場面で活動を通して子どもたちの豊かな心を育て参りました。また、地域の方々から温かい言葉をかけていただいたことで人の役に立っている自分に気づき、不登校から立ち直った子どももいました。

とく批判的に見られることの多い中学生ですが、多感な時期の、大人とのかけわりのが子どもの心を揺さぶり、自分の存在感に気づき自己実現へ歩み出す手助けとなります。

## 秋に中間発表会を

10月中旬には、文化センターを会場に本年度の諸活動の様子や成果を広くみなさんに見ていただき、学校では授業公開と文部科学省 遠藤視学官の講演会も企画しております。



福祉体験学習・老人福祉施設訪問



少人数指導学習



花壇づくり

総合・津軽「津軽塗」講座



自然教室

「津軽三味線」講座



部活動

「郷土料理」講座



栄光を讃えて